

目 次

頁	行	誤	正	頁	行	誤	正
588	第18図	六郎鉾山抗道略図	六郎鉾山抗道略図	854	7	合団員会葬し	分団員会葬し
599	6	2～3円前従	2～3円前後	857	30	以来小学校が	以来小学校長が
607	30	のびき	こびき	864	21	1,500円	1,500万円
631	第85表	業客の推移	業容の推移	"	34	1,500円	4,500万円
639	14	共同表業	共同作業	865	6～7	会員部費	会費部費
648	第100表	井口品昭	井口昌昭	868	第29表	篠原咲子 川登中	篠原咲子 万年
658	23他	伊予合同銀行	伊豫合同銀行	"	"	田中ツネ	田中ツネ子
663	2他	伊予銀行	伊豫銀行	"	"	片山イサ子	片上イサ子
"	23	予州銀行	豫州銀行	872	第31表	稲田清友 上ノ山	稲田清友 中通
717	19	徹宿	徹宵	873	"	佐々木綱雄 上原町	佐々木綱雄 宮内
730	26	対校舎	南校舎	888	28	(字北万年村)	(字北万年)
737	27	赤星弥十郎	赤星弥一郎	892	24	昭和27年	昭和47年
739	15	弘法大師	弘法師	903	14	北川村	北川毛村
766	29他	松島 茂	松嶋 茂	905	15	大西 環	大西玉樹
784	10	鉱業班	鉦業班	923	5	ひなたびん	ひなびた
"	15	非常措置	非常措置	933	20	北川毛、高毛田	岩谷口、大平、高尾田
790	27	6時30分解した	6時30分解散した	950	14	サクラギ	向合
800	17	昭和29年9月21日	昭和22年9月21日	"	15	きれいな	きれいな
804	9	て長年修業	長年修業	951	11	石蔵尊	地藏尊
805	21	塾導員	補習導員	981	20	引掛かったために	引掛かったために
"	23	松島所長	松嶋所長	1016	右9	ツモゴリーつおす	ツモゴリーつもご
806	14	県改正に	再改正に	"	右10	ツヤスーつごもり	りーみそか
807	12	西岡伊喜	西岡伊喜	1017	右11	殴打する	殴打する
810	第22表	伊藤梅一	伊藤梅市	1027	6	瀬巨	瀬巨
812	6	愛媛県教育組合	愛媛県教員組合	1063	26	西麻生村	下麻生村
815	23	運搬自動車より	運搬自動車により	1074	18	教育にあり	教育にあたり
818	24	意識及び	意義及び	1075	27	骨髄	骨董
826	29	この年	昭和30年	1166	8	収められ	収められた
826	14	(建坪786.6㎡…)	()内抹消	"	9	大般若	大般若経
831	6	社会活に	社会生活に	1187	第23表	亀井官治郎	亀井官次郎
832	24～25	を決定し	を設置し	1195	27	窪田健吉	門田健吉
"	25	設置方案	設置法案	1196	13	明治42年2月17日	明治40年2月17日
837	3	雄辯会	雄辯会	1203	30	宮城康直	宮城康直
838	12	近村辯論大会	近村辯論大会	1204	22	山本寅五郎	山田寅五郎
843	14～15	生活改善	生活改善	1206	25	白瀧 巖	白瀧 巖
849	第26表	環境衛生薬剤	環境衛生薬剤	1213	16	明和3年	昭和3年

第1篇 自然環境

第1章	砥部町の概観	3
第2章	気 象	7
1	気象の概要	7
2	各季節の気象	8
3	気象統計	10
4	気象災害	12
第3章	地 質	16
1	砥部町の地質概要	16
2	砥部町の基盤岩石	17
	(1) 領家帯和泉砂岩 (2) 長瀬帯結晶片岩	
3	砥部町の被覆岩石	26
	(1) 石鎚山第3紀層 (2) 火山岩類 (3) 洪積層, 沖積層	
4	砥部つき上げ断層	34
	(1) 動いている地殻 (2) なぜ国の天然記念物に指定されたか	
	(3) どれが天然記念物か (4) 断層線をさぐる	
第4章	生 物	44
1	植 物	44
	(1) 草木類 (2) 樹木	
2	動 物	47

第2篇 歴史の推移

第1章	原始・古代——(遺跡・遺物)	51
1	遺跡・遺物をたずねる	51
	(1) 縄文式文化 (2) 弥生式文化 (3) 古墳文化	
	むすび 郷土と埋蔵文化財	67
第2章	古代・中世	87

1	古代・中世における郷土関係史料	87
	(1) 法隆寺文書 (2) 正倉院文書 (3) 延喜式	
	(4) 倭名類聚抄 (5) 大山積神社文書と砥部庄	
2	古代——律令制下の郷土	90
	(1) 国造の配置と郷土 (2) 国郡の制と郷土	
3	中世期における郷土	93
	(1) 河野氏とわが郷土 (2) 大森彦七と郷土 (3) 重見氏と郷土 (4) 平岡氏と郷土 (5) 郷土と農民	
第3章	近世	115
1	藩体制と郷土	115
	(1) 領主の交替 (2) 御替地と郷土 (3) 検地	
	(4) 支配の構造 (5) 村落構成——農民支配・生活構造	
	(6) 宗門改 (7) 貢租 (8) 農業以外の産業に対する課徴 (9) 農民統制策	
2	藩政期, 郷土の産業	141
	(1) 農業 (2) 工業(砥石業・陶業) (3) 商業(原町在町, 藩札)	
3	郷土の社会と文化	181
	(1) 寺院と檀家制 (2) 神社 (3) 講 (4) 農民生活——社寺信仰と文化	
4	農民の反発と紛争, その成長	187
	(1) 三好半右衛門——下麻生村庄屋設置に献身 (2) 入会山紛争, 庄屋善兵衛と佐治右衛門 (3) 水論と窪田兵右衛門 (4) 入会山問題, その後の紛争	
5	飢饉と備荒対策	216
	(1) 飢饉と農民 (2) 享保飢饉 (3) 備荒対策——貯穀その他	
6	幕末・維新における大洲・新谷両藩の動向と郷土	230
	(1) 幕末・維新, 大洲藩の動向 (2) 幕末・維新, 新谷藩の動向	

	むすび	232
第4章	近代	234
	概観	234
1	明治前期における諸改革	240
	(1) 行政区画の変遷と三新法制定	
2	明治前期における諸改革(つづき)	244
	(1) 戸籍法 (2) 地租改正 (3) 徴兵制	
3	明治前期の産業	247
	(1) のちの原町村地域の産業 (2) のちの砥部村地域の産業	
4	明治前期の教育	251
	(1) 寺小屋教育 (2) 小学校の沿革, その整備	

第3篇 行政と財政

第1章	行政区画の変遷	261
1	明治前期の行政区画	261
2	町村制公布, 地方自治制の確立と発達	263
第2章	新しい砥部町の誕生 付, 鶴崎地区一部編入	265
1	新しい砥部町の発足	265
	(1) 合併経緯の概要 付, 鶴崎部落の境界変更	
2	新しい砥部町の歩み	274
	(1) 新砥部町の誕生と町政の大要 (2) 砥部町の歴代町長 (3) 町議会 (4) 行政機構	
第3章	財政	279
	概観	279
1	財政の推移発展(1)	279
2	砥部町財政の推移発展(2)	285
第4章	社会福祉	291

1	社会福祉法による諸事業（その一）	291
	(1) 生活保護 (2) 児童福祉 (3) 母子福祉	
	(4) 精神薄弱者福祉 (5) 老人福祉 (6) 身体障害者福祉	
2	社会福祉法による諸事業（その二）	303
	(1) 国民年金 (2) 地方改善事業（同和対策事業）	
	(3) 交通災害共済制度 (4) 戦争犠牲者の援護	
	(5) 社会福祉協議会 (6) 民間諸活動	
第5章	保健・衛生	311
1	衛生行政の沿革	311
	(1) 明治期における衛生行政の沿革 (2) 保健所の設置	
	経過とその管轄下	
2	予防と治療の進展	314
	(1) 急性伝染病 (2) 慢性伝染病 (3) 寄生虫病	
	(4) 成人病	
3	母子保健	318
4	環境衛生	320
	(1) 上水道——町営広域簡易水道事業 (2) 下水道	
	(3) 廃棄物と清掃処理事業 (4) し尿処理	
5	医療関係施設	325
	(1) 診療所（開業医） (2) 隔離病舎	
6	国民健康保険	326
7	人口動態	327
	(1) 人口の推移 (2) 人口の動向	
第6章	土木	333
1	道路と橋梁	333
	(1) 沿革と整備	
2	新町発足後の道路状況	335
	(1) 道路状況の進展	
3	治水	340
	(1) 町内の河川と治水対策の経過	

第7章	警備と治安	343
1	警備	343
	(1) 消防の沿革 (2) 近代における消防	
	むすび	352
2	治安	352
	(1) 警察官の沿革 (2) 警察官署配置の沿革 (3) 民衆による治安維持	
第8章	兵事	356
1	徴兵制	356
2	明治以降の戦乱	356
	(1) 西南の役 (2) 日清戦争と日露戦争 (3) 大正期の出兵	
	(4) 昭和期の事変と戦争	
	戦死、戦傷病死一覧表	359
第9章	選挙	372
1	選挙制度の沿革	372
2	国と地方の選挙	374
	(1) 国の選挙 (2) 地方選挙	
3	選挙管理委員会	378
	(1) 選挙管理委員会の誕生と任務	
	付記 町村選挙参考事項	380
第10章	労働問題	382
1	明治初期の農民運動	382
2	大戦以前の労働運動	382
3	第2次大戦後の労働運動	383
第11章	広報及び各種委員会	385
1	広報と行政	385
	(1) 概観 (2) 広報紙の発行 (3) 町政懇談会	
2	区長会と行政	387
	付記	
3	各種委員会の設置	390

	(1) 教育委員会	(2) 選挙管理委員会	(3) 監査委員	
	(4) 固定資産評価審査委員会	(5) 農業委員会		
第12章	官公署・諸施設			392
1	官公署			392
2	教育施設			393
3	文化施設			393
4	社会福祉施設			394
5	衛生施設			394
6	金融機関			394
7	協同組合			395
第4篇	産業・経済			
第1章	農業			399
1	自然とその利用			399
	(1) 地形	(2) 大洲秘録による砥部の農業	(3) 農家戸数と経営規模の推移	
			(4) 河川と溜池	
2	農地をめぐる諸問題			416
	(1) 農地の分布状態	(2) 開墾	(3) 農地の転用	
	(4) 地籍調査			
3	国土調査法に基づく地籍調査			422
	(1) 農地立法の変遷	(2) 農地改革	(3) 農業委員会	
			(4) 土地改良事業	
4	主要作物・特用作物			448
	(1) 米, 麦	(2) 食糧供出	(3) 米の生産調整	
	(4) 甘藷	(5) 特用作物		
5	畜産・漁業			454
	(1) 畜産	(2) 漁業		
6	農業協同組合			457
	(1) 原町農業協同組合	(2) 砥部農業協同組合		
	(3) 城南農業協同組合			
7	果樹園芸			471

	(1) 総論	(2) 果樹栽培	(3) 果樹園経営の近代化	
	(4) 果樹園芸農業協同組合	(5) 果樹園を襲った異常寒波		
8	砥部町農業振興地域整備計画書			505
	(1) 農業振興の基本構想	(2) 農業生産等の目標		
	(3) 農業生産技術の改善目標			
9	明治の農民生活断片			511
第2章	林業			515
1	林野の変遷			515
	(1) 明治以前の概要	(2) 明治時代	(3) 大正より第二次大戦前まで	
			(4) 第二次大戦と戦後	
2	林業経営の概要			548
	(1) 造林	(2) 生産	(3) 森林組合	
			(4) 関係団体	
第3章	鉱業			571
1	砥部町の地下資源と地質の概要			571
2	鉱山			571
	(1) 金属鉱山	(2) 非金属鉱山		
第4章	商工業			602
1	商工業の変遷			602
	(1) 明治以前の概要	(2) 明治より第二次大戦まで		
	(3) 戦後			
2	砥部焼企業の発展			618
	(1) 原料	(2) 製土方法	(3) 燃料	
	(4) 製造工程	(5) 窯の種類	(6) 労働	
	(7) 生産販売	(8) 窯の分布	(9) 伊予陶磁器協同組合	
			(10) 関係団体と機関	
3	商工会			641
	(1) 任意組合時代	(2) 商工会(法人)時代	(3) 関係団体	
第5章	金融			653
1	金融の変遷			653

	(1) 明治以前の概要	(2) 明治時代	(3) 大正より第二次大戦まで	(4) 戦後	
2	金融の種類と概要				663
	(1) 金融機関	(2) 政府系金融(制度金融)	(3) 庶民の金融	(4) その他の金融	
第6章	交通・運輸・通信				677
1	交通・運輸				677
	(1) 近世以前	(2) 藩政期(近世)	(3) 明治以降(近代)		
2	通信				691
	通信発達の概要				
第5篇 教 育					
第1章	学校教育				699
1	小学校教育の変遷				699
	(1) 寺小屋教育	(2) 明治初期の教育	(3) 明治中期の教育	(4) 明治後期の教育	(5) 大正期の教育
	(6) 昭和初期の教育	(7) 戦時下の教育	(8) 戦後の学校教育		
2	小・中学校の沿革				727
	(1) 砥部小学校 (付) 千里小学校	(2) 麻生小学校			
	(3) 宮内小学校	(4) 砥部中学校			
3	青年学校教育の変遷				776
	(1) 夜学会時代	(2) 実業補習学校・青年訓練所時代			
	(3) 青年学校時代				
4	青年学校各校の沿革				785
	(1) 砥部青年学校	(2) 原町青年学校			
5	幼稚園と高等学校				798
	(1) 幼稚園	(2) 高等学校 (付) 砥部工業学校			

第2章	教育行政				806
1	学務委員				806
2	教育委員会				807
	(1) 公選制教育委員会	(2) 任命制教育委員会			
	(3) 勤務評定問題	(4) 学校給食	(5) 鶺ノ崎部落の通学問題	(6) 学校統合の推進	(7) 教育関係施設の建設
第3章	社会教育				821
1	社会教育活動				821
	(1) 社会教育の変遷	(2) 公民館	(3) 社会教育研究大会	(4) 同和教育	
2	社会教育団体				834
	(1) 青年団	(2) 婦人会	(3) PTAと愛護班	(4) その他	
第6篇 宗 教					
第1章	宗教の推移				879
第2章	神 社				880
1	大宮八幡神社				881
2	川 富 神 社				889
3	祇 園 神 社				890
4	五 社 神 社				890
5	新田五社神社				890
6	熊 野 神 社				891
7	三 島 神 社				891
8	高 雄 神 社				893
9	天 満 神 社				893
10	天 神 社				894
11	そ の 他				895
第3章	寺 院				897
1	円 誓 寺				897

2	靈岩寺	898
3	永代寺	899
4	理正院	900
5	円通寺	901
6	その他	902
第4章	教派神道その他	905
1	天理教	905
2	金光教	906
3	創価学会, その他	907
4	キリスト教	908

第7篇 民俗

第1章	衣食住の変遷	913
1	衣生活	913
	(1) きもの (2) はきもの (3) かぶりもの	
	(4) 雨具	
2	食生活	918
	(1) 食物 (2) 炊事施設 (3) 調理, 炊事用具・食器	
3	住居・建物	921
	(1) 家の屋根 (2) 建築材 (3) 家の間取り	
	(4) 家の中の設備	
第2章	労働の慣行と村休み	924
1	共同作業	924
2	奉公	925
3	村休み	926
第3章	年中行事	928
1	正月	928
	(1) 元日, 二日, 三日 (2) お日待ち (3) なずな節句	
	(4) お十五日	
2	春	930

	(1) 節分 (2) 針供養 (3) ひな節句 (4) 春の彼岸 (5) 花祭り (6) 社日	
3	夏	931
	(1) 端午の節句 (2) 田休み (3) 七夕	
	(4) 盆	
4	秋	933
	(1) 秋の彼岸 (2) 秋祭り	
5	冬	933
	(1) 亥の子 (2) 大晦日	
6	その他	934
第4章	人生通過儀礼	935
1	産育の習俗	935
	(1) 帯とり (2) 名つけ (3) お宮参り (4) はしぞろえ (5) 初節句 (6) 誕生日 (7) 七五三	
2	婚姻の習俗	936
	(1) 結納 (2) 結婚式	
3	年祝い・厄払いの習俗	937
	(1) 年祝い (2) 厄払い	
4	葬祭の習俗	938
	(1) 葬儀 (2) 仏事	
	付 民間信仰	939
	(1) 祈禱と講 (2) 小社・小堂・石仏の分布	
	(3) 神祭り行事と民間芸能・行事 (4) 砥部四国開設と巡拝	
第5章	伝承と俗信	969
1	一連の伝説	969
	(1) 燈明松(木の伝説) (2) 姥桜(木の伝説)	
	(3) 袖掛松(木の伝説) (4) 足跡石(石の伝説)	
	(5) つぶて石(石の伝説) (6) 椀貸(塚の伝説)	
	(7) 牛祭塚(塚の伝説) (8) 塩売淵(竜一大蛇一と名剣伝説)	
	(9) 馬取淵のエンコ(エンコ伝説) (10) 千里口のエンコ	

	(エンコ伝説) (1) 土子池の大ドンコ (魚の伝説)	
	(12) 大森花畑, 夜の怪 (百鬼夜行伝説) (13) 松なし正月	
	(禁忌—タブ—伝説) (14) 豆まきなしの節分 (同左)	
	(15) 大事松前の金蓮寺 (ものがたり)	
2	大森彦七に関する伝説……………973	
	(1) 千里と彦七 (2) 大貝城 (3) 大森彦七館, 花畑	
	(4) 不 ^な 焼 ^ひ 火 (5) 塩売 ^{しほ} 洲 (6) 魔住が窪	
3	その他の伝説……………975	
	(1) 古岩屋 (2) 風穴 (3) 姥桜 (4) 土壇原	
	(5) 射場の木 (6) 坂面山 (7) 鏡川, 逆ツラ山のこと	
	(8) 白滝城主の末裔	
4	古老の話……………978	
	(1) エンコの話 (2) 鐘が洲の名前 (3) 黒岩, 家三	
	軒 (4) 客の地名・門松をたてない風習 (5) 大谷,	
	地名の由来など (6) 大森さん (7) さんじ坊, その	
	他地名の由来 (8) 宮内, 天満宮の祭礼 (9) 高尾田,	
	お六尺 ^{むくしち} の話 (10) 玉錦 ^{たまにしん} 勇蔵の墓 (11) 土壇原の袖掛	
	松 (12) 大友山 ^{おおともさん} の大蛇 (13) 馬とり洲のエンコ (14)	
	胡瓜を食わない夏祭	
5	俗 信……………983	
	(1) まじない (2) 迷信 (3) なり木の伝説	
	付 俚 言……………987	
第6章	民 謡……………989	
1	労働中の歌……………989	
	(1) 田植歌 (2) もみすり歌 (3) 地つき歌	
	(4) 機織り歌	
2	祝いごと, その他の歌……………994	
	(1) 豊年おどり (2) 建築祝うた (3) その他の歌	
3	わらべ歌……………995	
	(1) 遊戯歌 (2) 歳事歌 (3) その他	

第7章	方 言……………1001
1	愛媛の方言と当町で使われてきた方言……………1001
	使われていた方言表……………1002
	付 地名の由来……………1026
	(1) 穂 ノ 木
	(2) 字 名

第8篇 文化財・観光資源

第1章	文 化 財……………1039
1	国指定文化財……………1039
	(1) 砥部衝上断層 (2) 子持高杯
2	県指定文化財……………1040
	(1) 霊岩寺厨子及び須弥壇 (2) 大下田古墳群
3	町指定文化財……………1043
	(1) 大森彦七供養塔 (2) 窪田兵右衛門の墓 (3) 米
	山書・奉納俳額 (4) 三岳寺鰯口 (5) 旧22連隊兵舎
	(6) 五本松の大いちょう (7) 天神松 (8) その他
第2章	観 光 資 源……………1054
1	立 地 条 件……………1054
2	観 光 資 源……………1054
	(1) 砥部焼の窯巡り (2) 史跡 (3) 民俗関係
	(4) 古建築 (5) 自然景観 (6) 砥部四国, その他
	(7) 果樹園芸 (8) 観光土産品
3	観光開発の計画……………1057
	(1) 整備計画
	付 砥部町遺跡・名所略地図……………1059

第9篇 人物伝

前田源六……………1063	中野五郎吉……………1083
三好半右衛門……………1063	村上徳太郎……………1084
庄屋善兵衛常重 と佐治右衛門……………1065	西岡種憲……………1085
窪田兵右衛門……………1068	沢田幸太郎……………1086
門田金治……………1071	佐川広太郎……………1087
杉野丈助……………1072	岡田俊平……………1088
井上奎兵衛……………1074	石司佐一郎……………1088
日野喜一郎……………1075	梅野鶴市……………1089
織田森太郎……………1076	宮内克崇……………1090
亀井官次郎……………1077	越智貞見……………1091
相田梅太良……………1078	西松唯一……………1093
松田良雄……………1079	久保勉……………1094
伊藤允讓……………1080	阿部公政……………1096
向井和平……………1081	森石山……………1097
藤田近太郎……………1083	矢野翠鳳……………1099
	井上正夫……………1099

第10篇 資料

坪内家所蔵（川登村旧庄屋）資料……………	1105
日野家所蔵（岩谷口村旧庄屋）資料……………	1111
理正院文書（上麻生村旧庄屋門田家）……………	1115
砥部町役場所蔵（旧原町村役場所蔵引継、その他一部）資料……………	1126
その他……………	1159
付 表	
歴代町村長・助役、収入役……………	1187
歴代町議会議長・副議長……………	1192
歴代町村議会議員……………	1195
県議会議員（砥部町出身）……………	1211
砥部町史年表……………	1212

第1篇 自然環境